

戦評用紙

大会名	平成26年度山形県男女総合バスケットボール選手権大会
-----	----------------------------

日時	2014年10月5日 12:00 ~	区分	山形県バスケットボール協会
----	--------------------	----	---------------

チームA				チームB
山形商業高校				鶴岡信用金庫ハリートクラブ
86	24	1Q	21	66
	16	2Q	12	
	17	3Q	14	
	29	4Q	19	
		延長		

【戦評】

白のユニフォーム山形商業高校は#4・6・7・8・9、黒のユニフォーム鶴岡信用金庫ハリートクラブは#5・6・9・10・13がスターティングメンバー。山形商業高校オールコートマンツーマンディフェスに対し、鶴岡信用金庫ハリートクラブは2-3ゾーンディフェンスでスタートする。黒#5の連続シュートで始まったが、白#4の3Pと#7のシュートで山形商業高校がリードする。一進一退の攻防がつづくが、白#9、#8の3Pシュートで突き放しにかかる。しかし、黒のドライブで食い下がり24-21で山形商業高校の3点リードで第1ピリオドが終了する。

第2ピリオド、黒は引き続き2-3ゾーンディフェンス、白はハーフコートマンツーマンディフェスでスタートする。出だし、白のシュートが落ちる間に、黒は#13のミドルシュートによる連続得点等で残り6分に1点差まで差を縮める。その後白#7のシュートで3点差となった残り5分で黒1回目のタイムアウト。タイムアウト終了後、白#6のフリースロー、黒#5のシュートが入るものの、その後3分間、お互いにシュートがなかなか決まらない。残り1分で白#5の3Pシュート、#9の得点により、前半40-33で白が7点リードして終わる。

第3ピリオド、両者第2ピリオドと同様のディフェンスでスタートする。序盤、白は黒のゾーンディフェンスをなかなか崩せない中、黒#5の連続得点で差を縮め、黒#11のシュートが決まり、残り5分のところで同点に追いつく。しかし、白#9が得点、白#9にフリースローを与えたところで、黒がタイムアウトをとる。フリースローを決められ4点差となる。黒はディフェンスをマンツーマンディフェスにしたが、白#5、4の連続3Pシュートで10点差になったところで、たまたま黒タイムアウト。黒は2-3ゾーンディフェンスに戻す。その後、お互いにシュートを決め合い、57-47で白10点リードして終わる。

第4ピリオド、両チームともここまでと同様のディフェンス。黒#13、5がシュートを決めるも、白#5の連続3Pシュートにより14点差となり、黒は、残り8分で最後のタイムアウトをとる。タイムアウト後、黒はディフェンスをマンツーマンディフェスに変える。お互いに得点を決めあうものの、残り5分ころから白が相手のミスやリバウンドから効果的に得点を決め、86-66で山形商業高校が勝利する。

戦評者

飛鳥 陽子